

法人 天草市起業創業・中小企業支援機



▲左から牛深商工会議所の益田政昭会頭
天草市商工会の崎本弘訓会長
中村市長
本渡商工会議所の池田正三郎会頭
天草信用金庫の山田清和理事長

市の発展を目ざして

一般社団法人 天草市起業創業・中小企業支援機構を設立
市では、起業家や中小企業者の相談をワンストップで受け、支援を行う「天草市起業創業・中小企業支援センター Ama-Biz」の設置に向けた取り組みを進めています。11月17日には、Ama-Bizの運営母体となり、市内の5つの産業支援団体で構成する（一社）天草市起業創業・中小企業支援機構の設立総会を市役所で開催。定款や事業計画、センター長の公募（お知らせ版1ページに関連記事）などについて協議しました。代表理事に選任された本渡商工会議所の池田正三郎会頭は、「市の発展のため精いっぱい取り組みたい」と話していました。

今年もよく育っています

デコポン収穫祭

天草特産のみかん“デコポン”の収穫祭が11月12日、志柿町にあるデコポンのハウス栽培施設の八ツ山ハウス団地で行われました。生産者や農協職員など40人が、収穫の安全と多収穫を祈願して神事を行った後、鉢入れ式を実施。生産者の田尻哲也さんは「今年もよく育っています」と話していました。

デコポンは、熊本県果実連の商標で、不知火という品種のみかんのうち、甘さ、すっぱさの基準をクリアしたもの。12月1日に販売をスタートし、主に関東や関西方面に出荷されます。



▲鉢入れを行う田尻さん

歌や踊りに大きな拍手

福連木子守唄&童謡まつり2014 in天草

11月9日、天草町の福連木体育館で「福連木子守唄&童謡まつり2014 in天草」が開催され、家族連れなど約1,500人が来場しました。同まつり実行委員会が、子守唄の保存・継承と地域振興を目的として毎年実施しているもの。町内外の保育園児による歌や踊り、天草小学校の児童による「福連木の子守唄」が披露され、来場者から大きな拍手が送られていました。また、もち投げや特産品の販売なども行われました。



▲「福連木の子守唄」を歌う児童

昔懐かしい車がずらり

オールドカーフェスティバル

昔懐かしい車を並べた「オールドカーフェスティバル」が11月2日、有明町の道の駅リップランドで開催されました。天草宝島観光協会有明支部が、秋季の観光客を増やそうと初めて実施したものです。県内外の愛好家たちが、1980年代までの国産車を中心としたスポーツカーやセダン、大型バイクなど約60台を持ち寄り展示。来場者は展示された車に興味津々で、オーナーに車の年代を尋ねたり、写真撮影をしたりするなど、楽しい時間を過ごしていました。



▲1970年代の日産フェアレディZを見る親子

安産や家内安全を願って

産島八幡宮例祭

10月25・26日、河浦町宮野河内の上平地区で市無形民俗文化財に指定されている「産島八幡宮例祭」が行われました。安産や家内安全を願うこの祭りは、“海を渡る祭礼”として知られており、初日は、同地区の無人島・産島にある産島八幡宮から神輿を船に寄せ、上平十五社宮へ移す“お下り”があり、2日目は、“お上り”で同島へ帰りました。

両日は、大漁旗が飾られた船の神幸行列が行われたほか、地元の子どもたちによる太鼓踊りや獅子舞などが披露され、多くの見物客でにぎわいました。



▲船に寄せられ海を渡る神輿

化石や地層を学ぶ

小学校化石セミナー

10月31日、御所浦町で「小学校化石セミナー」が開催され、御所浦小学校5・6年生44人が参加しました。化石や地層、自然を学んでもらおうと市が毎年行っているもの。

児童は、御所浦白亜紀資料館で市学芸員から説明を受けながら、肉食恐竜のカルノサウルス類の歯や巻貝などの化石を見たほか、梶の木海岸にある8,500万年前の地層やアンモナイト館などを見学。「とても楽しく勉強ができた」と話していました。



▲同資料館を見学するようす